

# 2025年3月期 第2四半期決算説明会

---

2024年10月30日  
株式会社オリエンタルランド



- I. 決算概要
- II. 今夏の振り返りと今後の集客の方向性
- III. 2025年3月期業績の見通し
- IV. 次期経営計画の検討状況



# I. 決算概要

---

## I. 決算概要

まずは2025年3月期第2四半期の決算概要についてご説明します。



## 1. 上半期実績(前年同期比較)

(億円)

連結損益計算書	2024年3月期 実績	2025年3月期 実績	増減	増減率
売上高	2,843	2,972	129	4.5%
テーマパーク事業	2,339	2,387	48	2.1%
ホテル事業	428	502	74	17.4%
その他の事業	75	82	6	8.3%
営業利益	770	631	△ 138	△ 18.0%
テーマパーク事業	629	499	△ 129	△ 20.6%
ホテル事業	133	123	△ 10	△ 7.5%
その他の事業	5	5	0	6.4%
経常利益	777	639	△ 137	△ 17.7%
税金等調整前中間純利益	777	642	△ 135	△ 17.4%
親会社株主に帰属する中間純利益	545	455	△ 90	△ 16.5%

ホテル事業の売上高の増や、テーマパーク事業のゲスト1人当たり売上高の増などにより増収となったものの、各コストの増により減益

4

### 1. 上半期実績(前年同期比較)

上半期実績は、ご覧の通りです。

前年同期と比較して、ホテル事業の売上高の増やテーマパーク事業のゲスト1人当たり売上高の増から増収し、過去最高の売上高となったものの、各コストの増により減益となりました。

セグメント別の実績と増減要因をご説明します。

# 1. 上半期実績(前年同期比較)－主な増減要因

テーマパーク事業①	2024年3月期 実績	2025年3月期 実績	増減	増減率
売上高(億円)	2,339	2,387	48	2.1%
入園者数(万人)	1,250	1,220	△31	△2.4%
ゲスト1人当たり売上高(円)	16,566	17,303	737	4.4%
アトラクション・ショー収入	7,962	8,914	952	12.0%
商品販売収入	5,331	4,997	△334	△6.3%
飲食販売収入	3,272	3,392	120	3.7%

### 入園者数の減

- ・リベンジ消費の落ち着きなどによる旅行需要の減による減
- ・猛暑による減
- ・東京ディズニーリゾート®40周年イベント終了による減
- ・ファンタジースプリングス開業による増
- ・海外ゲスト数の増

### ゲスト1人当たり売上高の増

- ・アトラクション・ショー収入の増
  - －変動価格制による高価格帯チケット構成比の増
  - －東京ディズニーリゾート・パッケージの増
  - －ディズニー・プレミアアクセスの増
- ・商品販売収入の減
  - －東京ディズニーリゾート40周年関連商品の販売終了による減
  - －ファンタジースプリングス関連商品の販売による増
- ・飲食販売収入の増
  - －ファンタジースプリングス新規店舗オープンによる増

ゲスト1人当たり売上高は増加した一方、  
旅行需要の減少や猛暑の影響などにより、入園者数が減少

※2024年10月30日時点で導入している/今期中の導入を予定しているディズニー・プレミアアクセスの対象はAppendix P23をご参照ください。

## 1. 上半期実績(前年同期比較)－主な増減要因

テーマパーク事業の売上高は、48億円増の2,387億円となりました。

入園者数につきましては、ファンタジースプリングス開業による増はあったものの、リベンジ消費の落ち着きなどによる旅行需要の減や、猛暑の影響などにより、減少しました。

ゲスト1人当たり売上高につきましては、アトラクション・ショー収入は、変動価格制による高価格帯チケット構成比の増や、東京ディズニーリゾート・パッケージの増などにより、増加しました。飲食販売収入は、ファンタジースプリングス開業に伴う新規店舗オープンなどにより、増加しました。

一方、商品販売収入は、東京ディズニーリゾート40周年イベント関連商品の販売終了による減などにより減少しました。

# 1. 上半期実績(前年同期比較) – 主な増減要因

テーマパーク事業②	(億円)			
	2024年3月期 実績	2025年3月期 実績	増減	増減率
売上高	2,339	2,387	48	2.1%
営業利益	629	499	△ 129	△ 20.6%

営業利益の減		(億円)	
売上高の増		諸経費の増	△ 65
商品・飲食原価率の増	△ 22	メンテナンス費の増	△ 20
人件費の増	△ 55	販売促進費の増	△ 9
準社員人件費の増	△ 22	浦安市への消防署所用地譲渡による増	△ 6
正社員人件費の増	△ 20	システム関連費用の増	△ 5
その他	△ 12	エネルギー費の増	△ 4
		その他	△ 19
		減価償却費の増	△ 65
		新規資産取得による増など	

※コストにおける△表示は、営業利益に対する減少影響を示しています。

ファンタジースプリングス開業などに伴い各コストが増加したことなどから減益

## 1. 上半期実績(前年同期比較) – 主な増減要因

テーマパーク事業の営業利益は、各コストの増加により、129億円減少し、499億円となりました。

商品・飲食原価率は、全体としては増加しました。  
 飲食原価率は、原材料の高騰による増に加え、一部食材の外部発注により増加し、  
 商品原価率は、在庫状況を鑑みた販売価格の調整を行ったことに伴い、増加しました。

人件費は、賃金改定や、ファンタジースプリングス開業などに伴う労働時間の増による準社員人件費の増などにより増加しました。

諸経費は、老朽化対策などに伴うメンテナンス費の増などにより増加しました。

減価償却費は、ファンタジースプリングス開業による新規資産の取得などにより、増加しました。

# 1. 上半期実績(前年同期比較) – 主な増減要因

(億円)

ホテル事業	2024年3月期 実績	2025年3月期 実績	増減	増減率
売上高	428	502	74	17.4%
ディズニーホテル	388	461	73	18.9%
客室稼働率 (%、pt)	98.8	93.3	△ 5.5	
平均客室単価 (円)	53,346	61,456	8,110	15.2%
その他ホテル	39	40	1	2.8%
営業利益	133	123	△ 10	△ 7.5%

## 売上高の増

- ・ 東京ディズニーシー・ファンタジースプリングスホテル開業などによる増

## 営業利益の減

- ・ 人件費の増 (△ 26億円) – 在籍者数の増、賃金改定による増など
- ・ 諸経費の増
- ・ 減価償却費の増 (△ 10億円)

※コストにおける△表示は、営業利益に対する減少影響を示しています。

新規ホテル開業などにより増収となったものの、各コストが増加し減益

7

## 1. 上半期実績(前年同期比較) – 主な増減要因

ホテル事業は、東京ディズニーシー・ファンタジースプリングスホテル開業などによる宿泊収入の増加により、売上高は74億円増の502億円となりました。

上半期のディズニーホテルにおける客室稼働率は、東京ディズニーセレブレーションホテルの修繕の実施により5.5ポイント減の93.3%、平均客室単価は、8,110円増の61,456円でした。

営業利益は、東京ディズニーシー・ファンタジースプリングスホテル開業に伴う各コストの増などにより、10億円減の123億円となりました。

東京ディズニーシー・ファンタジースプリングスホテルの予約状況は好調が続いています。引き続きディズニーリゾート・パッケージなどを活用しながら、リゾート全体での体験の拡充に努めます。

## 1. 上半期実績(前年同期比較) – 主な増減要因

(億円)

その他の事業 	2024年3月期 実績	2025年3月期 実績	増減	増減率
売上高	75	82	6	8.3%
営業利益	5	5	0	6.4%

### 売上高の増

- ・乗降客数の増によるモノレール事業の増

### 営業利益の増

- ・売上高の増
- ・人件費の増

主にモノレール事業の売上高の増加により、増収増益

8

## 1. 上半期実績(前年同期比較) – 主な増減要因

その他の事業は、乗降客数の増加に伴うモノレール事業の増収により、売上高は6億円増の82億円、営業利益は、売上高の増加により5億円でした。



## 2. 上半期実績(期初予想比較)

(億円)

連結損益計算書	2025年3月期 期初予想	2025年3月期 実績	増減	増減率
売上高	3,149	2,972	△ 176	△ 5.6%
テーマパーク事業	2,579	2,387	△ 191	△ 7.4%
ホテル事業	491	502	11	2.3%
その他の事業	78	82	3	4.5%
営業利益	692	631	△ 60	△ 8.7%
テーマパーク事業	571	499	△ 71	△ 12.5%
ホテル事業	116	123	7	6.4%
その他の事業	3	5	2	82.9%
経常利益	704	639	△ 64	△ 9.2%
税金等調整前中間純利益	704	642	△ 62	△ 8.9%
親会社株主に帰属する中間純利益	484	455	△ 29	△ 6.0%

主に入園者数の減により、売上高と各利益が期初予想を下回った

9

## 2. 上半期実績(期初予想比較)

期初予想比較は、ご覧の通りです。

主に入園者数の減少により、売上高と各利益が期初予想を下回りました。

セグメント別の実績と増減要因をご説明します。

## 2. 上半期実績(期初予想比較) – 主な増減要因

(億円)

### テーマパーク事業①

	2025年3月期 期初予想	2025年3月期 実績	増減	増減率
売上高	2,579	2,387	△ 191	△ 7.4%

	2025年3月期 期初予想比較	主な増減要因
入園者数	下回った	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リベンジ消費の落ち着きなどによる旅行需要の減による減</li> <li>・猛暑による減</li> <li>・東京ディズニーリゾート40周年イベント終了による減</li> <li>・海外ゲスト数の増</li> </ul>
ゲスト1人当たり売上高	ほぼ同様	
アトラクション・ショー収入	若干上回った	・東京ディズニーリゾート・バケーションパッケージの増
商品販売収入	下回った	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食品の減</li> <li>・ファンタジースプリングス関連商品の一時的な販売制限による減</li> </ul>
飲食販売収入	ほぼ同様	

旅行需要の減少や猛暑などの影響が想定よりも大きく、入園者数が下回った

10

## 2. 上半期実績(期初予想比較) – 主な増減要因

テーマパーク事業の売上高は、191億円下回りました。

入園者数につきましては、リベンジ消費の落ち着きなどによる旅行需要の減少や、猛暑などの影響が想定よりも大きかったことにより、下回りました。

ゲスト1人当たり売上高につきましては、アトラクション・ショー収入は東京ディズニーリゾート・バケーションパッケージの好調により、若干上回りました。

商品販売収入は、食品の減とファンタジースプリングス関連商品の需要に鑑み、一時的に販売制限を行ったことにより減少しました。

飲食販売収入はほぼ同様でした。

## 2. 上半期実績(期初予想比較) – 主な増減要因

(億円)

テーマパーク事業②	2025年3月期 期初予想	2025年3月期 実績	増減	増減率
売上高	2,579	2,387	△ 191	△ 7.4%
営業利益	571	499	△ 71	△ 12.5%

### 営業利益の減

(億円)

売上高の減		諸経費の減	約 50
商品・飲食原価率の増	約△ 15	販売促進費の減	約 10
人件費の減	約 10	エネルギー費の減	約 5
準社員人件費の減	約 5	研究開発費の減	約 5
正社員人件費の減 など	約 5	事業税の減	約 5
		システム関連費用の減	約 5
		その他	約 20

※減価償却費はほぼ同様

※コストにおける△表示は、営業利益に対する減少影響を示しています。

諸経費や人件費が減少したものの、売上高の減少などにより下回った

11

## 2. 上半期実績(期初予想比較) – 主な増減要因

テーマパーク事業の営業利益は、諸経費や人件費が減少したものの、売上高の減少などにより、71億円下回りました。

商品・飲食原価率は、全体としては上回りました。商品原価率は、在庫状況を鑑みた販売価格の調整を行ったことに伴い上回り、飲食原価率は、売上高の減少による製造人件費率の増加により、上回りました。

人件費は、入園者数減少に伴う労働時間の減により準社員人件費が減少したことなどから、下回りました。

諸経費は、販売促進費などの第3四半期以降への時期ずれや、エネルギー費や事業税の減などにより下回りました。

なお、減価償却費はほぼ同様でした。

## 2. 上半期実績(期初予想比較) – 主な増減要因

(億円)

### ホテル事業

	2025年3月期 期初予想	2025年3月期 実績	増減	増減率
売上高	491	502	11	2.3%
営業利益	116	123	7	6.4%

#### 売上高の増

・ファンタジースプリングス開業などに伴う宿泊収入の増

#### 営業利益の増

・売上高の増  
・人件費の増(約△10億円) – 業績賞与による増

※コストにおける△表示は、営業利益に対する減少影響を示しています。

ファンタジースプリングス開業などに伴う宿泊収入の増により、期初予想を上回った

### その他の事業

(億円)

	2025年3月期 期初予想	2025年3月期 実績	増減	増減率
売上高	78	82	3	4.5%
営業利益	3	5	2	82.9%

その他の事業は、ほぼ想定どおり

12

## 2. 上半期実績(期初予想比較) – 主な増減要因

ホテル事業は、  
ファンタジースプリングスの開業などに伴う増により  
売上高は11億円上回りました。

営業利益は、  
売上高が増加したことなどから、7億円上回りました。

その他の事業は、  
売上高は3億円、営業利益は2億円上回りました。

## II. 今夏の振り返りと今後の集客の方向性

---

### II. 今夏の振り返りと今後の集客の方向性

ご説明のとおり、今期は猛暑の影響を強く受け、  
入園者数が期初予想を下回りました。

改めて、今期に実施していた猛暑への対策と振り返りについてご説明の上、  
今後の集客の方向性についての議論の進捗をお伝えできればと思います。

## 2025年3月期に実施した猛暑への対応

<b>ソフト</b> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>夏のプログラムの開催期間を昨年度より延長</li> <li>散水ショーでは、散水量・散水範囲を大幅に増強</li> <li>来園意向の向上を目的としたデジタル媒体（SNS等）での広告の出稿</li> </ul>
<b>ハード</b> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>空調機の増設</li> <li>タープの設置やファストパス発券機の撤去による日陰の増強</li> <li>ドリンクワゴンや自動販売機の設置台数拡大</li> <li>一部の屋外店舗の営業時間を短縮</li> </ul>



夏期のデジタル広告 ©Disney

## 今夏の振り返りと考察

	来園希望者の属性	コンテンツ
振り返り	<ul style="list-style-type: none"> <li>当期は来園希望者のうち、実際に来園した割合が前年同期より低下した一方、特定のターゲットの来園は低下しなかった</li> <li>夜間券の売上は堅調。夏期のパークの過ごし方へのニーズは多様化していることを確認</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>この時期ならではの期間限定のコンテンツ*があった期間は、入園者数は堅調に推移した</li> <li>*「セレブレーション・スペース・マウンテン：ザ・ファイナルイグニッション！」など</li> </ul>
考察	<ul style="list-style-type: none"> <li>特定のターゲットにおいては、夏期も来園を促進しやすい傾向</li> <li>1デーパスポートのみならず、夜間券をはじめとしたチケットの仕組みを活用した来園促進も効果的となりうる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>期間限定の魅力的なコンテンツの導入によって、暑い中でも来園を十分に促進できる</li> <li>特定のターゲットに、より焦点を当てたコンテンツも集客に有効</li> </ul>

今期の振り返りを踏まえた考察を活かし、来期以降の方向性を検討していく

## 今夏の振り返りと今後の集客の方向性

前年同期の猛暑を受け、今期はハード・ソフトの面で出来る対策を講じました。少しでも快適なパーク環境を提供できるよう、散水量・散水範囲を大幅に増加させた散水ショーを実施したり、空調機の増設や日陰の増強などを行いました。

また、一部店舗の営業時間の短縮などゲストやキャストの暑さ対策を行いながら、効率的なパーク運営も意識しました。

その上で、来園者・非来園者調査の結果や、満足度調査などを活用し、夏期の振り返りを行い、来園希望者の属性、コンテンツの面でご覧のような考察を得ています。

考察を踏まえて、来期以降の集客のあり方を検討中ですが、本日は議論の方向性をご説明いたします。



## 今夏の振り返りと今後の集客の方向性

### 2026年3月期以降の方針

来園を喚起するターゲットを特定し、第2四半期の集客基盤の確立を目指す。  
加えて、集客の波の変化を踏まえ、年間を通じた集客のあり方を検討する

#### ①夏期の方向性

特別な体験で 来園を喚起する	<ul style="list-style-type: none"> <li>夏期に需要が見込めるターゲットを特定（若年層や東京ディズニーリゾートに好意を持つ層など）し、当該ターゲットに響く魅力的なコンテンツの導入により、来園を喚起</li> <li>夏期のパークのイメージ訴求方法を中長期的に検討</li> </ul>
仕組みで 来園を喚起する	<ul style="list-style-type: none"> <li>期間限定券種などによる、特定のターゲットに焦点を当てた、価格訴求の施策の検討</li> <li>夜間券種の増枠や、新たな仕組みの券種の導入も含めて検討</li> </ul>
快適なパーク環境を 提供する	<ul style="list-style-type: none"> <li>空調機の増設や、日陰の増強など、夏期でもゲストが安全に楽しめる環境整備を継続する</li> <li>その上で、夏期のパークは従前より過ごしやすい環境であることの認知向上を図る</li> </ul>

#### ②年間の方向性

集客の波の変化を 捉える	<ul style="list-style-type: none"> <li>年間の集客の波の変化を踏まえ、第1四半期や第4四半期の入園者数の底上げなど、年間を通じたテーマパークの集客向上策を検討する</li> </ul>
-----------------	---

年間の方向性も含めて、次期経営計画で具体策を発表する

15

### 今夏の振り返りと今後の集客の方向性

2026年3月期以降は、ご覧のとおりの方針を検討しています。

猛暑だからと諦めるのではなく、  
夏期でも需要が見込めるターゲット層がいることや、  
魅力的なコンテンツの導入によって来園を促進できることがわかったため、  
まずは夏期の集客を向上させることを目指します。

具体的には、“特別な体験で来園を喚起する”、“仕組みで来園を喚起する”、  
“快適なパーク環境を提供する”を軸に、様々な集客のための取り組みを検討しています。

加えて、夏期以外も含めて、年間を通じた集客のあり方を検討します。  
例えば、第1四半期や第4四半期の入園者数を底上げする施策の実施など、  
前例にとらわれることなく、様々な角度から施策を検討していく予定です。

本日は議論の方向性のみお伝えをしましたが、  
詳細については、全社一丸となって更に議論を重ね、  
次期経営計画発表時は、具体策をお伝えできるよう着々と準備を進める所存です。

猛暑の影響がある中でも、「夏休みを利用して来園したい」「夏のパークを満喫したい」  
というゲストの消費マインドの変化を促し、  
外部環境の変化に適応できる、サステナブルな集客構造を目指していきます。  
今後も東京ディズニーリゾートにご期待ください。

## III. 2025年3月期業績の見通し

---

### III. 2025年3月期業績の見通し

続きまして、上半期の業績を踏まえた、  
2025年3月期業績の見通しについてご説明します。



### 2025年3月期業績予想について

- 上半期は対期初予想で減収減益
- 下半期は収益向上策やコストコントロールを推進し、対期初予想で増収増益を見込む

**通期では、2025年3月期業績予想を据え置き、期初予想の売上高・各利益達成を目指す**

【参考】下半期の見通し（2025年3月期通期予想－上半期実績）

（億円）

連結損益計算書	2025年3月期	2025年3月期	増減	増減率
	下半期期初予想	通期期初予想 －上半期実績		
売上高	3,697	3,874	176	4.8%
営業利益	1,007	1,068	60	6.0%
経常利益	1,012	1,077	64	6.4%
税金等調整前四半期純利益	1,012	1,075	62	6.2%
親会社株主に帰属する四半期純利益	720	749	29	4.0%

**収益向上策やコストコントロールを推進し、通期業績予想の売上高・各利益達成を目指す**

17

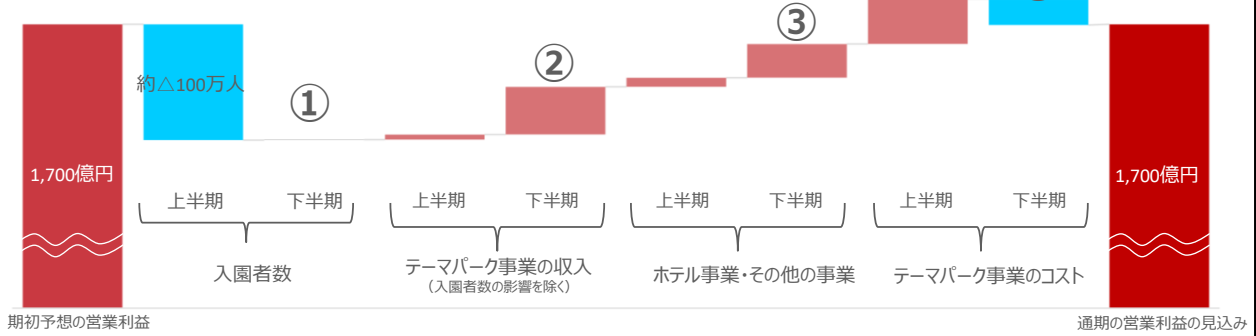
### 2025年3月期業績の見通し

当期は、東京ディズニーリゾート40周年イベントの反動を見込んでいる中でも、ストレッチな目標を掲げ、達成に向けて努力をしてきました。

上半期は、旅行需要の減少や猛暑の影響など、厳しい外部環境が続きましたが、足元の状況は堅調に推移しています。また、東京ディズニーリゾート・バケーションパッケージなどの一部のサービスは、上半期からの好調の継続を見込んでいることに加え、さらに全社的なコストコントロールにも取り組んでいきます。

以上のことを踏まえ、上半期は減収減益であったものの、下半期に売上高の増加を見込み、通期では期初予想を据え置く判断をしました。

## 通期の営業利益の増減イメージ (対期初予想)



## 下半期の増減要因の内訳

①	<ul style="list-style-type: none"> <li>入園者数はほぼ同様</li> <li>旅行需要の減少や東京ディズニーリゾート40周年イベントの反動減の影響は、一定程度残る見込み</li> <li>今後予定しているコンテンツや、ターゲットを限定した期間限定券種の実施による底上げを行う</li> </ul>
②	<ul style="list-style-type: none"> <li>東京ディズニーリゾート・パッケージは上回る - 好調の継続による増</li> <li>商品販売収入は上回る - ファンタジースプリングス関連商品の追加発注による増</li> </ul>
③	<ul style="list-style-type: none"> <li>宿泊収入は上回る</li> <li>東京ディズニーシー・ファンタジースプリングスホテルやインバウンド需要による好調の継続による増</li> </ul>
④	<ul style="list-style-type: none"> <li>諸経費は上回る - 上半期からの時期ずれによる増</li> <li>※諸経費は通期では減少を見込む (約40億円)</li> </ul>

入園者数は通期で2,800万人を見込むものの、テーマパーク事業やホテル事業の売上高の増、諸経費の減により、期初予想の達成を目指す

## 2025年3月期業績の見通し

営業利益1,700億円を達成するための増減イメージは、ご覧のとおりです。

入園者数は、旅行需要の減少や東京ディズニーリゾート40周年イベントの反動減の影響が、一定程度残る見込みですが、今後予定しているコンテンツや、ターゲットを限定した期間限定券種の実施により、下期は期初予想どおりの入園者数を達成します。

テーマパーク事業の収入は、東京ディズニーリゾート・パッケージの好調が継続することや、欠品していたファンタジースプリングス関連商品の追加納品を予定しており、期初予想を上回ると見込んでいます。

ホテル事業の収入は、足元の好調が続くことに加え、高需要を踏まえた客室単価の設定を行っていきます。

コストは、上半期からの時期ずれが発生するため、下半期で見ると期初予想を上回る予定ですが、コストコントロールにより、通期では期初予想を下回る見込みです。

下半期の期初予想と比較すると、売上高・各利益ともに上回る計画ではありますが、強い意思をもって収益向上策やコスト削減を推進し、期初予想の達成を目指します。

## IV. 次期経営計画の検討状況

---

### IV. 次期経営計画の検討状況

当期は2024中期経営計画の最終年度です。  
これまで約3年間、中期経営計画で掲げた戦略を着実に推進してきました。

株主・投資家の皆さまとお話をさせていただく中で、  
来期以降の経営計画への注目度の高さを感じています。  
そのため本日は次期経営計画の検討状況をお伝えいたします。

### 次期経営計画の発表時期について

- 2025年4月下旬に予定している期末決算発表にて発表を行うべく策定中
- これまでも策定している3か年の中期経営計画に加えて、クルーズ事業の業績への影響も含めて、長期の経営計画を発表する予定

### 資本政策について

- 次期経営計画では、キャッシュアロケーション、最適な資本構成の考え方、ROEの目標水準などを開示する予定
- 営業キャッシュ・フローに加えて、負債余力も活用し、東京ディズニーリゾートやクルーズ事業などへの投資や、自己株式の取得などの株主還元を行っていく
- なお、当社株式のまとまった放出については、事前に把握し、最善の対応方法をとれるよう機動的に進めていく

2025年4月に次期経営計画を発表予定。

市場の声も踏まえた経営計画を策定するべく、引き続き市場との対話を重視していく

## 次期経営計画の検討状況

当社は2025年4月下旬に実施予定の、2025年3月期決算説明会にて、次期経営計画を発表する予定です。

2028年度には新たに、クルーズ事業が加わることで、当社グループのポートフォリオが変化していくと考えています。そういった内部環境の変化も含めて、次期経営計画はこれまでも策定している3か年の中期経営計画に加えて、長期の経営計画を発表する予定です。

皆さまとの対話の中で、特に資本政策については、より明確な考え方を提示する必要性を感じています。キャッシュアロケーション、最適な資本構成の考え方、ROEの目標水準などについて次期経営計画の中で改めて検討しており、2025年4月に開示をいたしますので、もう少々お時間を頂けると幸いです。

また、株主還元も重視した経営を行う所存です。営業キャッシュ・フローに加えて、負債余力も活用し、投資や自己株式取得などの株主還元を行う他、当社株式のまとまった放出について、事前に把握し、最善の方法を取れるように進めていきます。

株式市場の声も踏まえた経営計画を策定するべく、引き続き株主・投資家の皆さまとの建設的な対話を行い、企業価値の更なる向上を図ります。

# Appendix

---

●開業初期の運営方針

ゲストの需要や体験価値、オペレーションの習熟度に鑑み、エリアのキャパシティをコントロールした運営を実施中

●アトラクション体験方法一覧

券種と特徴	購入・取得対象者	サービス詳細
<p>① <b>1デーパスポート： ファンタジースプリングス・ マジック</b></p>  <p>©Disney</p>	<p><b>有償</b></p> <p><b>事前に 体験を予約</b></p> <p>・ファンタジースプリングスホテル宿泊者   ©Disney            ・東京ディズニーリゾート・バケーションパッケージの入園保証プランの購入者   ©Disney</p>	<p>✓エリア内に時間指定なく、いつでも入場可能            ✓エリア内の3つのアトラクションに、時間指定なく短い待ち時間で体験が可能            ✓アトラクションの利用回数の制限はなし</p> <p>※2025年3月末を以て販売終了</p>
<p>② <b>ディズニー・ プレミアアクセス</b></p>  <p>©Disney</p>	<p><b>有償</b></p> <p><b>当日に 体験を予約</b></p> <p>東京ディズニーシー来園者</p>	<p>✓指定した時間にアトラクション体験が可能            ✓アトラクション体験時間に基づき指定された時間にエリアに入場が可能            ✓短い待ち時間で、購入したアトラクションの体験が可能            ✓1回のみ購入したアトラクションの体験が可能</p>
<p>③ <b>スタンバイパス</b></p>  <p>©Disney</p>	<p><b>無償</b></p> <p><b>当日に 体験を予約</b></p> <p>※入園後に東京ディズニーリゾート・アプリにて購入・取得が可能</p>	<p>✓指定された時間にアトラクション体験が可能            ✓アトラクション体験時間に基づき指定された時間にエリアに入場が可能            ✓1回のみ取得したアトラクションの体験が可能</p>



## 「ディズニー・プレミアアクセス」の対象

パーク内施設等の体験時間や入場時刻を指定して予約できる有料のサービス。少ない待ち時間で施設の利用が可能



コンテンツ	導入日	価格	コンテンツ	導入日	価格
◆美女と野獣“魔法のものがたり”	2022年 5月19日	¥2,000	◆ソアリン：ファンタスティック・フライト	2022年 5月19日	¥2,000
◆スプラッシュ・マウンテン	2022年 12月1日	¥1,500	◆トイ・ストーリー・マニア！	2022年 6月10日	¥2,000
◆ベイマックスのハッピーライド	2022年 12月1日	¥1,500	◇ピリーヴ！～シー・オブ・ドリームス～	2022年 11月11日	¥2,500
◇ディズニー・ハーモニー・イン・カラー	2023年 4月15日	¥2,500	◆タワー・オブ・テラー	2022年 12月9日	¥1,500
◇東京ディズニーランド・ エレクトリカルパレード・ドリームライツ	2023年 4月15日	¥2,500	◆センター・オブ・ジ・アース	2022年 12月9日	¥1,500
◇ディズニー・パルパルザ <b>終了</b> ミニー@ファンダーランド	2024年 1月10日*1	¥2,500	◆アナとエルサのフロズンジャーニー	2024年 6月6日	¥2,000
◇ディズニー・パルパルザ <b>終了</b> クワッキーセレブレーション★ドナルド・ザ・レジェンド！	2024年 4月9日*2	¥2,500	◆ラプンツェルのランタンフェスティバル	2024年 6月6日	¥2,000
◇東京ディズニーランド Reach for the Stars	2024年 9月20日	¥2,500	◆ピーターパンの ネバーランドアドベンチャー	2024年 6月6日	¥2,000
◇ザ・ヴィランズ・ハロウィーン“Into the Frenzy”	2024年 10月1日*3	¥2,500	◇ビッグバンドビート～ア・スベシャルトリート～	2024年 11月13日	¥2,500
◇ミッキーのマジカルミュージックワールド	2024年 11月13日	¥2,500			
◇クラブマウスビート	2024年 11月13日	¥2,500			
◇ディズニー・クリスマス・ストーリーズ“フオンド・フェアウェル”	2024年 11月15日*4	¥2,500			

◆：アトラクション ◇：エンターテイメント

※2024年10月30日時点で公表しているものを記載しています。

\*1 2024年1月10日～3月19日の間、対象でした。

\*2 2024年4月9日～6月30日の間、対象でした。

\*3 2024年10月1日～11月7日の間、対象です。

\*4 2024年11月15日～12月25日の間、対象です。



## 「東京ディズニーリゾート40周年記念プライオリティパス」の対象

指定された時間に短い待ち時間で施設をご利用いただける無料のサービス

**東京ディズニーリゾート40周年イベント終了後の2024年4月1日以降もご利用いただけます。  
終了日は、決まり次第お知らせします。**



スター・ツアーズ：ザ・アドベンチャーズ・コンティニュー	アクアトピア“びしょ濡れ”バージョン*3 <b>終了</b>
スペース・マウンテン*1 <b>終了</b>	インディ・ジョーンズ®・アドベンチャー：クリスタルスカルの魔宮
バズ・ライトイヤーのアストロプラスター*2	海底2万マイル
ビッグサンダー・マウンテン	タートルトーク
プーさんのハニーハント	ニモ&フレンズ・シーライダー
ホーンテッドマンション	マジックランプシアター
モンスターズ・インク“ライド&ゴーシーク！”	レイジングスピリッツ

※2024年10月30日時点で公表しているものを記載しています。

\*1 スペース・マウンテンは2024年7月31日をもって閉鎖しました。

\*2 バズ・ライトイヤーのアストロプラスターは2024年10月31日をもって閉鎖します。

\*3 アクアトピアは2024年7月2日～9月18日の間、対象でした。





# 2025年3月期 テーマパークイベント・新規アトラクションカレンダー

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
東京ディズニーランド	4/9~6/30 <b>NEW</b>	「ディズニー・パルパルザ」第2弾 ★「ドナルドのクッキー・タックシテイ」		9/20 <b>NEW</b>	◆東京ディズニーランドReach for the Stars ▶	
	4/9~7/31 <b>NEW</b>	★「セレブレーション・スペース・マウンテン：ザ・ファイナルイグニッション！」				
				7/2~9/18	★スプラッシュ・マウンテン“びしょ濡れMAX”	
				7/2~9/18	★ベイマックスのミッション・クールダウン	
				7/2~9/18	★“びしょ濡れ”トゥーンタウン	
			7/2~10/31 <b>NEW</b>	★「バス・ライトイヤーのアストロプラスター “コンプリート・ザ・ミッション！”		
東京ディズニーシー	4/1~6/30 <b>NEW</b>	★「東京ディズニーシー・フード&ワイン・フェスティバル」				
	1/9 ~ 4/7	←「タワー・オブ・テラー」のバージョン変更		6/6 <b>NEW</b>	▶ ファンタジースプリングス グランドオープン ◆アナとエルサのフロズンジャーニー ◆ラプンツェルのランタンフェスティバル ◆ピーターパンのネバーランドアドベンチャー ◆フェアリー・ティンカーベルのビジーバギー	
	4/9~6/30 <b>NEW</b>	★「ドリーミング・オブ・ファンタジースプリングス」				
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
東京ディズニーランド	10/1~ 11/7	★「ディズニー・ハロウィーン」		11/15~ 12/25	★「ディズニー・クリスマス」	
	7/2~10/31 <b>NEW</b>	←★「バス・ライトイヤーのアストロプラスター “コンプリート・ザ・ミッション！”			1/15~3/16 <b>NEW</b>	★「ディズニー・パルパルザ」第3弾
東京ディズニーシー	10/1~ 11/7	★「ディズニー・ハロウィーン」		11/15~ 12/25	★「ディズニー・クリスマス」	
				1/1 ~ 1/13	★お正月の スペシャルイベント	
				1/15~	イツ・ア・スモールワールド with グルーツ	

★：スペシャルイベント・プログラム ◆：新規アトラクション・ショーなど

※イベントの名称、開催期間および内容は変更になる場合があります。  
※2024年10月30日時点で公表しているものを記載しています。



# 2024年3月期 テーマパークイベント・新規アトラクションカレンダー

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
東京ディズニーランド	2023/4/15~2024/3/31 NEW			★「東京ディズニーリゾート40周年“ドリームゴーラウンド”」		
				7/4~9/6	★スプラッシュ・マウンテン“びしょ濡れMAX”	9/15~10/31 ★「ディズニー・ハロウィン」
				7/4~9/6 NEW	★ハイマックスのミッション・クールダウン	
				7/4~9/6 NEW	★“びしょ濡れ”トーンタウン	
東京ディズニーシー	2023/4/15~2024/3/31 NEW			★「東京ディズニーリゾート40周年“ドリームゴーラウンド”」		
				7/4~9/6	★【びしょ濡れアトラクション】アクアトピア	9/15~10/31 ★「ディズニー・ハロウィン」
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
東京ディズニーランド	2023/4/15~2024/3/31 NEW			★「東京ディズニーリゾート40周年“ドリームゴーラウンド”」		
	9/15~10/31 ★「ディズニー・ハロウィン」	11/8~12/25 ★「ディズニー・クリスマス」		1/1~1/8 ★お正月のスペシャルイベント	1/10~3/19 NEW 「ディズニー・バルバレーザ」第1弾 ★「ミニーのファンダーランド」	
東京ディズニーシー	2023/4/15~2024/3/31 NEW			★「東京ディズニーリゾート40周年“ドリームゴーラウンド”」		
	9/15~10/31 ★「ディズニー・ハロウィン」	11/8~12/25 ★「ディズニー・クリスマス」		1/1~1/8 ★お正月のスペシャルイベント	1/9~4/7 「タワー・オブ・テラー」のバージョン変更	

★：スペシャルイベント・プログラム ◆：新規アトラクション・ショーなど



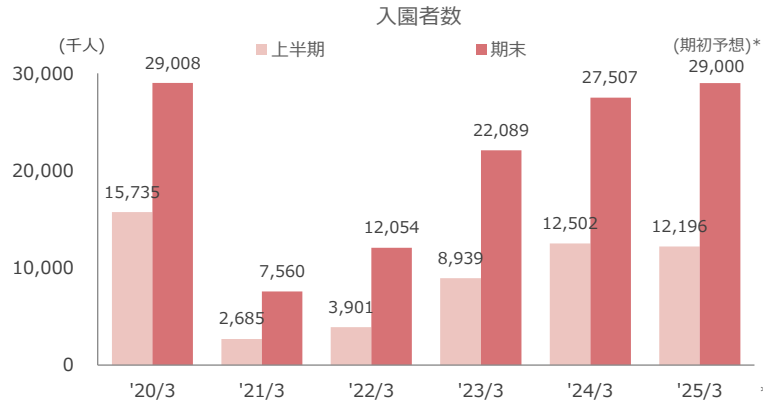
## 投資額・償却費 上半期実績(前年同期比較)

(億円)

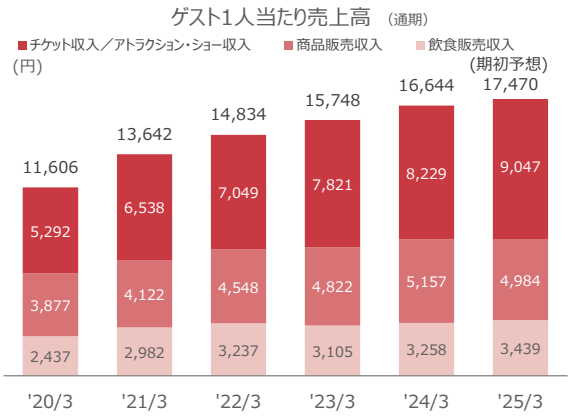
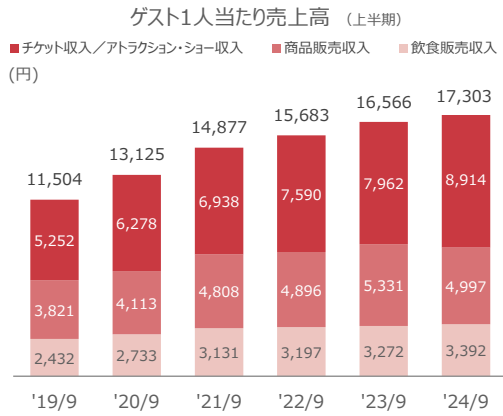
投資額 (有形固定資産・無形固定資産・長期前払費用)	2024/3 実績	2025/3 実績	増減	主な増減要因
テーマパーク事業	248	224	△ 24	
東京ディズニーランド	68	145	76	スペース・マウンテン、バズ・ライトイヤーのアストロブラスターのリニューアルの増
東京ディズニーシー	142	497	355	*東京ディズニーシー大規模開発プロジェクトの投資額の一部を その他から東京ディズニーシーに固定資産計上したことによる増
その他	36	△ 418	△ 455	*東京ディズニーシー大規模開発プロジェクトの投資額の一部を その他から東京ディズニーシーに固定資産計上したことによる減
ホテル事業	23	58	35	東京ディズニーシー大規模開発プロジェクトの増
その他の事業	6	207	201	クルーズ事業の増
(消去又は全社)	△ 0	△ 1	△ 0	
合計	277	488	210	

償却費 (有形固定資産・無形固定資産・長期前払費用)	2024/3 実績	2025/3 実績	増減	主な増減要因
テーマパーク事業	193	258	65	
東京ディズニーランド	80	84	3	
東京ディズニーシー	64	126	62	東京ディズニーシー大規模開発プロジェクトの増
その他	48	48	0	
ホテル事業	22	32	10	東京ディズニーシー大規模開発プロジェクトの増
その他の事業	16	14	△ 1	
(消去又は全社)	△ 0	△ 0	△ 0	
合計	231	305	73	

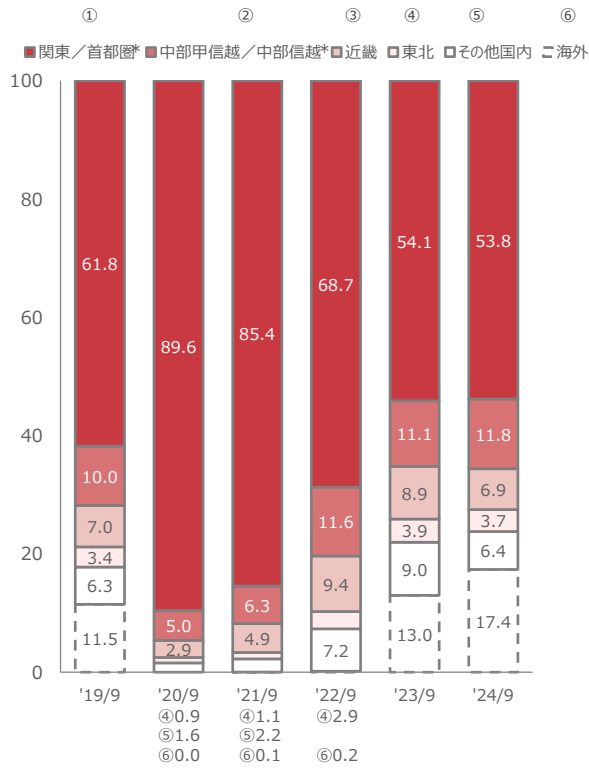


\*2024年10月時点では2,800万人を見込む

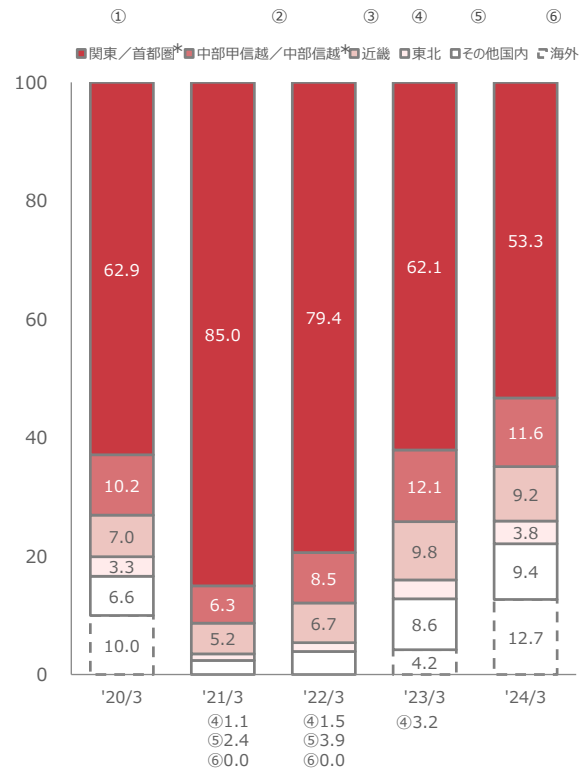


※2022年3月期以前の実績はチケット収入、2023年3月期以降の実績はアトラクション・ショー収入です。

### 地域別来園者比率 (上半期)



### 地域別来園者比率 (参考：2024年3月期までの通期実績)



\*'23/9より集計方法を変更しました。 29

(億円)

## 連結貸借対照表

	前期末	当中間期末	増減
<b>A.資産の部</b>			
流動資産	4,522	5,192	670
固定資産	9,029	9,078	48
資産合計	13,552	14,270	718
<b>B.負債の部</b>			
流動負債	2,469	2,172	△ 297
固定負債	1,586	2,364	778
負債合計	4,056	4,537	480
<b>C.純資産の部</b>			
株主資本	9,212	9,546	333
その他の包括利益累計額	283	186	△ 96
純資産合計	9,495	9,733	237
負債純資産合計	13,552	14,270	718

### 【A. 資産の部 718億円の増（5.3%増）】

#### I. 流動資産 670億円の増

(1) 現金及び預金の増	300 億円
(2) 有価証券の増	259 億円
(3) 棚卸資産の増	81 億円

#### II. 固定資産 48億円の増

(1) 設備投資による増	488 億円
(2) 減価償却による減	△ 305 億円
(3) 投資有価証券の減	△ 128 億円

### 【B. 負債の部 480億円の増（11.9%増）】

#### I. 流動負債 297億円の減

(1) 未払法人税等の減	△ 195 億円
(2) 支払手形及び買掛金の減	△ 36 億円

#### II. 固定負債 778億円の増

(1) 社債の増	799 億円
----------	--------

### 【C. 純資産の部 237億円の増（2.5%増）】

#### I. 株主資本 333億円の増

(1) 親会社株主に帰属する中間純利益による増	455 億円
(2) 配当による減	△ 131 億円



株式会社オリエンタルランド 経理部IRグループ

047-305-2034 [www.olc.co.jp](http://www.olc.co.jp)

---

注意事項：

本資料は、OLCグループの業績及び今後の経営戦略に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではありません。

本資料にて開示されているデータは、発表日現在の判断や入手可能な情報に基づくものです。当社グループの事業は、顧客嗜好・社会情勢・経済情勢等の影響を受けやすい特性を持っているため、本資料で述べられている予測や見直しには、不確実性が含まれていることをご承知おきください。

テーマパーク入園者数については単位未満を四捨五入、財務データについては単位未満を切り捨てて記載しています。  
本資料の転載はご遠慮ください。